

# 共同プロジェクト研究

共同利用・共同研究拠点 —情報通信共同研究拠点—

## 理念と概要

通研の役割 **情報通信分野における COE**  
**全国共同利用型研究所**

単なる設備の共同利用ではなく、**本研究所教員との共同研究を前提**とした共同利用型研究所

研究成果の公開

所外研究者との**研究内容主導型**の共同プロジェクト研究の遂行

国内外の優れた研究者の協力のもとに企画・コーディネートし、プロジェクト研究として実施

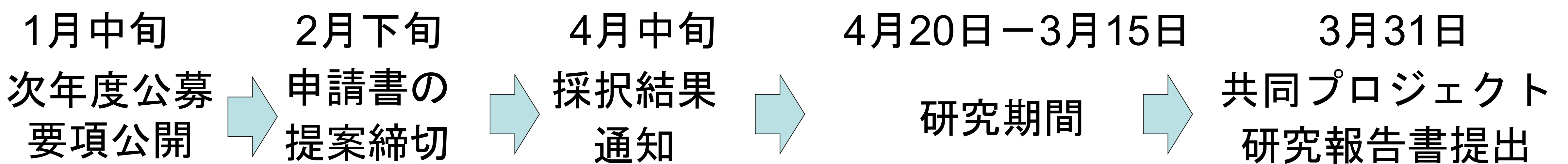
大規模な装置・施設の共同使用タイプの共同利用型研究ではない

## 公募と実施

《対象》

- ・ 国・公・私立大学、国・公立研究機関及び、民間企業・団体等の教員及び研究者
- ・ 本共同プロジェクト研究は本研究所教員との共同研究を前提としたものであるため、申請にあたっては本所に対応教員がいることが必要

《スケジュール（公募、実施は年度単位）》



《プロジェクト区分》

- A 本研究所での共同研究
- B 短期開催の研究集会
- S 組織間連携プロジェクト

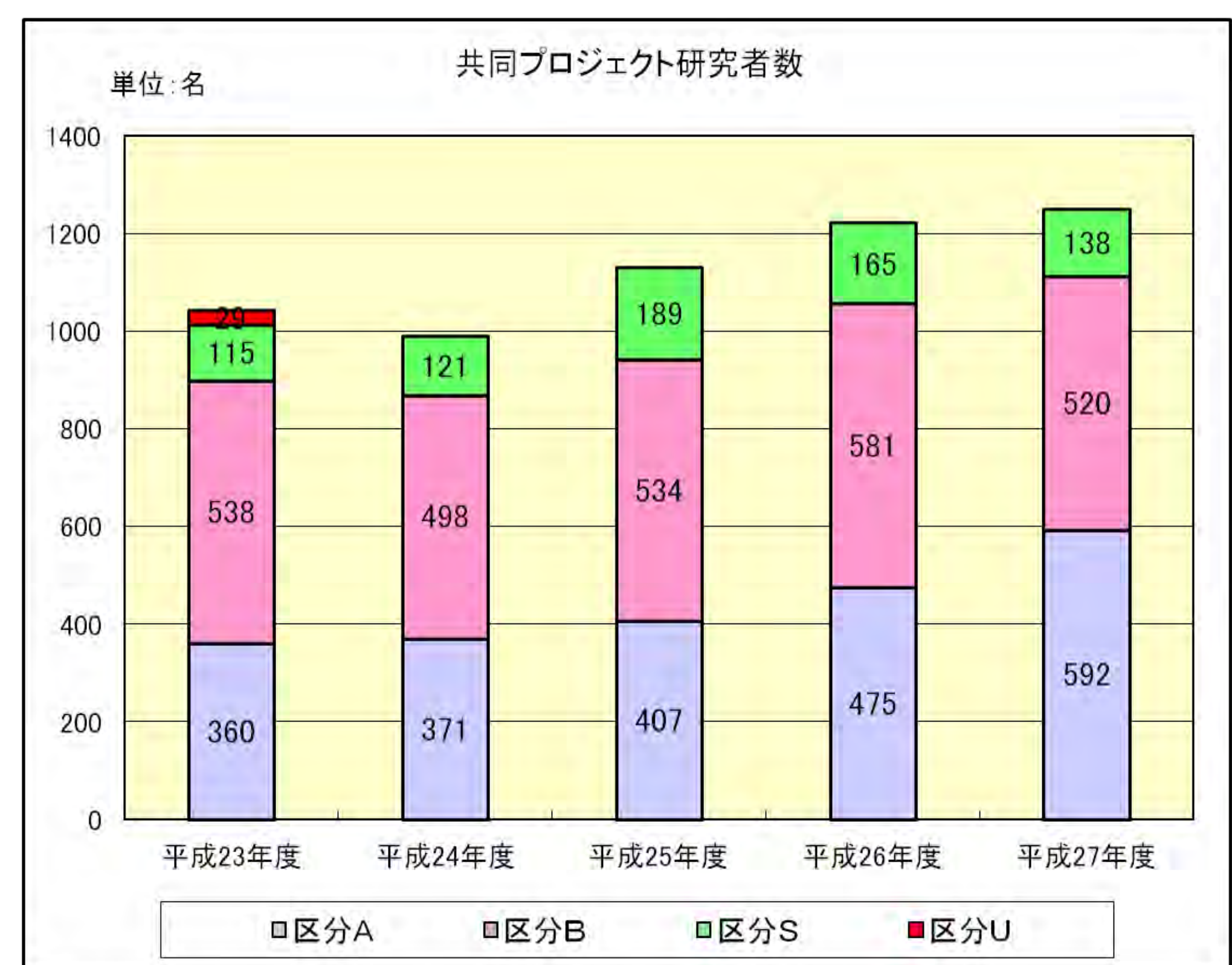
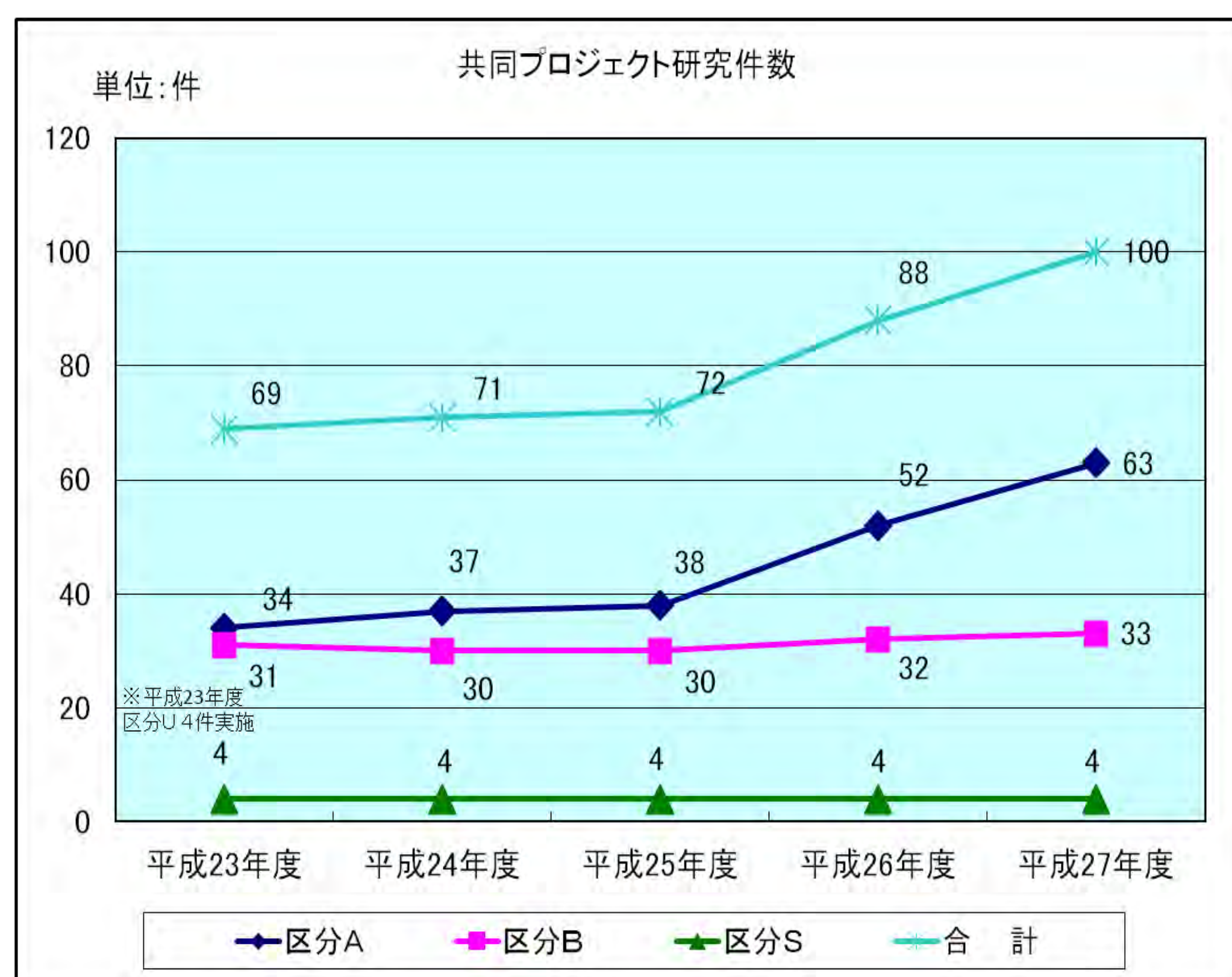
《プロジェクトタイプ》（H26年度より新設）

- 萌芽的研究支援型
- 先端的研究推進型
- 大型プロジェクト提案型
- 若手研究者対象型**
- 国際共同研究推進型**（中間S評価による予算措置を活用し、若手、国際型を重点支援し機能強化）

## 1. 実施状況（中間評価S評価を反映した機能強化により順調に拡大）

○共同プロジェクト件数 100件程度

○参画研究者数 1200名程度

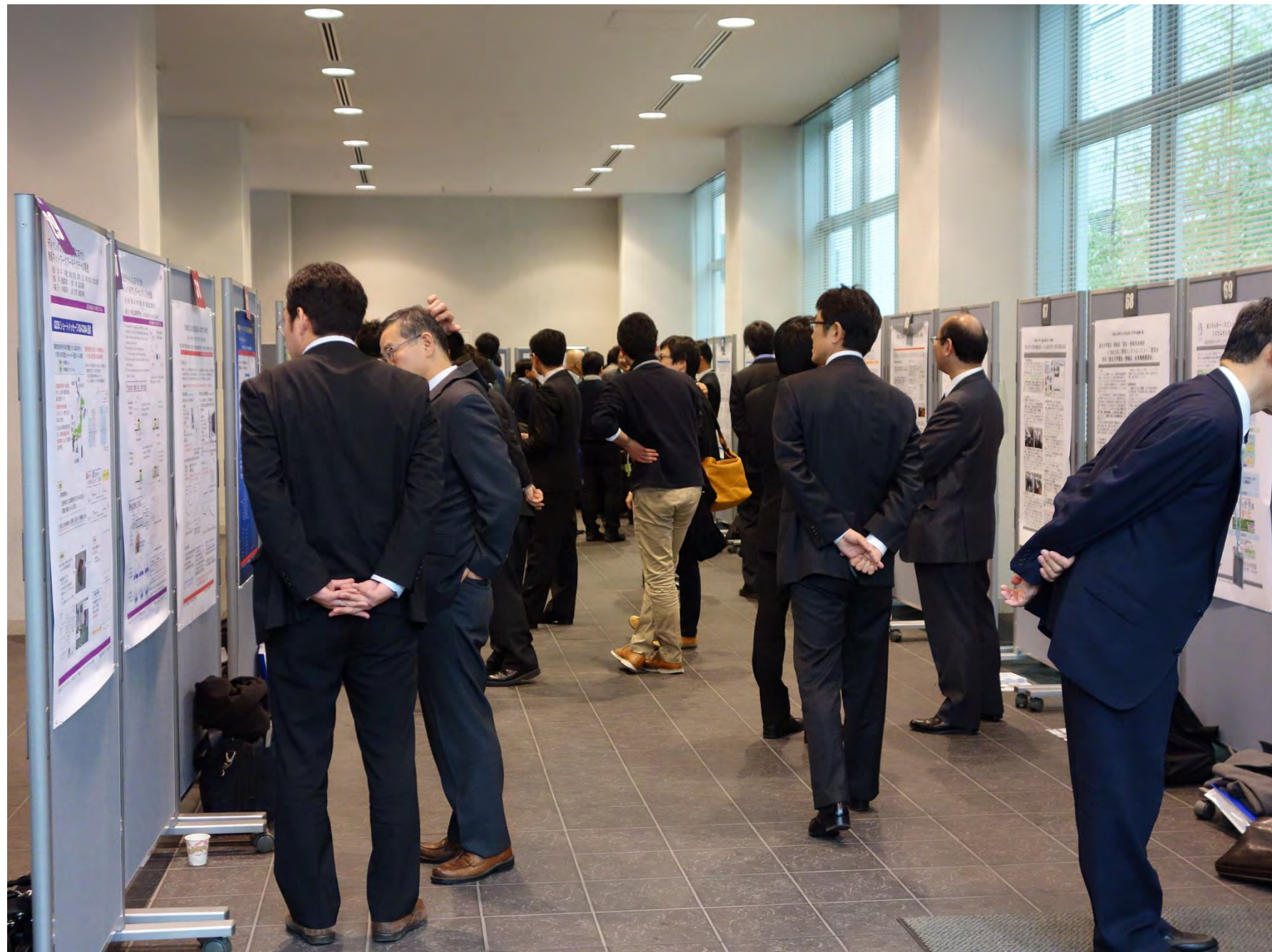


○予算額 約4500万円 (S評価増額分約1500万円を含む)



## 2. 共同プロジェクト研究発表会

平成22年度より共同プロジェクト研究成果の発表の場として「共同プロジェクト研究発表会」を開催している。



平成26年度共同プロジェクト研究発表会の様子と同ポスター

### ○ 平成27年度（午前中に英語セッションを新設）

日時：平成28年2月25日（木）10:00～19:00 場所：東北大学電気通信研究所本館

セッション：Opening Session：RIEC and its Cooperative Research Projects

国際共同研究推進型プロジェクト成果報告（英語セッション）

組織間連携プロジェクト成果報告

若手プロジェクト成果報告

ポスターセッション

## 3. 共同プロジェクト研究の成果と評価

### 【大型プロジェクトの創出】

共同プロジェクト研究からの発展  
平成22年から26年の間で27件を推進

- ・ 最先端研究開発支援プログラム
- ・ 先端研究拠点事業
- ・ 科学研究費補助金「特別推進」「基盤研究S」
- ・ JST-CREST など

### 【共同プロジェクト研究の期末評価】

(評価区分) **(中間評価に引き続き) S評価**

拠点としての活動が活発に行われており、共同利用・共同研究を通じて特筆すべき成果や効果が見られ、関連コミュニティへの貢献も多大であったと判断される。

(評価コメント) 共同利用・共同研究拠点として、情報通信に関して優れた研究成果を数多くあげ、拠点活動から発展したプロジェクト研究が最先端研究開発支援プログラムに採択されるなど、関連コミュニティの中核として活発に活動し、十分な役割を果たしている点が高く評価できる。

今後は、関連コミュニティへの波及効果として、更なる拠点外の研究者による論文の増加、共同研究の増加、女性の人材育成が期待される。